

2017年8月
受講生募集!



Peace Boat Global University

ピースボート地球大学

特別プログラム

2017年8月10日(木)～8月28日(月)

[19日間：8/10 東京集合・8/28 ヤンゴン解散]

多様性を知る!

英語を使う!

現地に学ぶ!

平和で包摂的な社会をつくる

Building Peaceful and Inclusive Societies in the Asia-Pacific

平和な社会というのはいかにして達成できるのでしょうか?分断と排除が安全をもたらすのだという考え方が世界的に広がっている今日、この問いはますます重要になっています。国連では2015年に、各国が今後15年間にわたって取り組むべき世界共通のゴールとして「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。SDGsの枠組みでは「誰一人取り残さない」というビジョンのもとに、貧困や保健、雇用やエネルギーなど、17の分野で目標が掲げられています。中でも、「平和と正義、そして効果的で包摂的な制度」が持続可能な開発の要であると定めるGOAL16は重要です。アジア太平洋地域にはいまだに終わりの見えない紛争に苦しむ国も多くあり、国の仕組みが安定しないために不正がはびこるという負の連鎖が見受けられます。このような中では言論や表現、宗教などの自由が保障されないこともしばしばです。地球大学ではアジア諸国の具体的な事例をもとに、貧困や差別、環境問題、移民、紛争などの課題について、協調による解決方法をさぐり、「誰一人取り残さない社会」をどのようにつくり出すことができるのかを考えます。

グローバル人材育成のための
ピースボートの
教育プログラムです。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【旅行企画・実施】

JG (株) ジャパングレイス

Coordinated by: PEACE
BOAT

アジアから、世界を変える

ピースポート地球大学は「地球一周の船旅」を活用した短期集中型の英語でのグローバル人材育成プログラムです。訪れる各地域での現場体験と洋上ゼミを組み合わせ、地球規模の問題を自分の問題として考える視点を養い、理解を深めていきます。専門知識を武器に、現場の声を確実にひろいながら、思いやり(empathy)と情熱(passion)をもって地球規模の課題を解決に導ける人材、先の見えない社会を牽引していく未来のリーダーのために、ピースポート地球大学特別プログラムを開講します。

※「ピースポート地球大学」は、NGOピースポートがコーディネートする教育プログラムです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。



このプログラムに参加して、学ぶだけでなく自分自身が問題の解決に関わりたい、関わらなければならないようになりました。
[2014年参加 東京外国語大学 星野純]



プログラムの特徴

多様性を知る!

地球大学にはアジア太平洋各国から参加者が集まります。バックグラウンドや専門の違う参加者と経験や意見を交わすことで、物事にはいくつもの見方があることを知り、様々な視点を比較・統合していく力を養います。

英語を使う!

語学は学びのツールです。英語「を」学ぶのではなく英語「で」学ぶのが地球大学。ディスカッションやプレゼンテーションも行います。各地のアクセントに触れながら、グローバルコミュニケーションの力を鍛えます。

現地に学ぶ!(エキスポージャー)

エキスポージャー(現地実習)を通して平和や人権、環境問題を検証し、現地に暮らす人々とともに解決策を考えます。「かわいそう…」から「私が変わる!」に変わる。それが平和な社会を築く当事者への第一歩です。

ナビゲーター

Khin OHMAR
キン・オンマー
 [民主化・人権運動家/NGOプログレッシブ・ボイス諮問委員会議長]
 ミャンマー(ビルマ)出身。1988年の民主化運動に学生として参加。1998年から拠点をタイとミャンマーの国境に置き、ミャンマー民主化運動に精力的に携わる。また国連人権委員会を始め様々な国際機関でミャンマーの人権状況を積極的に証言している。2016年からミャンマーの政策研究・人権団体プログレッシブ・ボイス諮問委員会議長を務める。

OSHIDARI Kenro
忍足謙朗
 [国連世界食糧計画(WFP)元アジア地域局長]
 30年以上にわたり国連に勤務し、人道支援、開発支援の現場で活躍。WFPではボスニア紛争、コンゴ紛争などの紛争地、内戦時代のカンボジア、スーダン共和国等で大規模な緊急支援の指揮をとる。2009年から2014年、WFPアジア地域局長を務め、アジア14か国の支援の総責任者となる。

ピースポート地球大学を応援しています!

コーディネーター

KAWASAKI Akira
川崎哲
 [NGOピースポート共同代表/核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員]
 東京都出身。平和、軍縮のアドボカシー活動をしながら恵泉女学園大学や立教大学で教鞭をとる。2009年、核不拡散・核軍縮に関する国際委員会とNGOアドバイザーを務めた。著書に『核拡散』(岩波書店)、『核兵器を禁止する』(岩波ブックレット)など。

ジェニー・オーリン
 [武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ(GPPAC)人間の安全保障マネジングアドバイザー]

ジャヤンタ・ダナパラ
 [スリランカ大統領上級外交顧問/元軍縮問題担当国連事務次長]

ピースポート地球大学では多くの大学と協力しています

- 東京外国語大学の「コンフリクト耐性」育成プロジェクトのスタディツアーに採択されました(2014-2017年度)
- 東京大学GLP-GEFILプロジェクトの奨学金付き海外サマープログラムに採択されました(2015-2017年度)
- その他過去には韓信大学校や慶熙大学校(韓国)、中国外交学院(中国)などからも学生が参加をしています。

プログラム概要

テーマ1

経済成長の闇に目を向ける

洋上ゼミ+東京エキスポージャー(8月11~12日)



経済成長の光の影には必ずと言っていいほど格差と差別のしきみが隠れています。世界有数の大都市東京も例外ではなく、かつての経済成長を支えた労働者の多くは今も昔も不安定な暮らしを強いられています。生活の苦しい人の支援を続ける人と街を歩くと、社会が豊かになる一方で格差は広がり、若者や女性が貧困に苦しむ現状があり、差別の問題も根強く残る都市の闇が浮かびあがってきます。東京のような街はSDGsが掲げる「包摂的な社会」になり得るのでしょうか。開発や経済成長が見えづらくする格差や差別の問題を考えます。

テーマ2

持続可能性を実践する ~自分たちでつくる未来~

洋上ゼミ+廈門エキスポージャー(8月18日)



環境への影響を顧みずに経済成長を追い求めれば水や空気が汚れ豊かな緑は失われます。しかし中国のように多くの人口を抱える国ではそのバランスを保つのは容易ではありません。まず大切なのは、政府や企業が自分たちの選取る戦略や政策が地球の未来に深く影響することを認識することです。その意味で安心な暮らしを保障し、持続可能な未来を築く、ということについて考えを深めていきます。廈門のエキスポージャーでは環境保護に目を向け、専門家とともに持続可能な人間と自然との共生のありかたを考えます。

テーマ3

多様性で社会を強くする

洋上ゼミ+シンガポールエキスポージャー(8月23日)



移民労働者が重要な労働力となっている社会は多くあります。シンガポールでも移民労働者は建設業や家事業務を担い国の経済を支えています。しかし支援団体の取り組みからは、移民労働者が適切な社会保障を受けられずに生活環境も劣悪な中で苦しむ様子が浮き彫りになります。受け入れ国に移民を守る義務はないのでしょうか。移民の問題と真摯に向き合うことは、さまざまな人にとって住みやすい社会をつくるきっかけにもなるはずですが、移民ひとりひとりの尊厳が尊重され、多様性が歓迎されるような移民政策のあり方はないのでしょうか。

テーマ4

紛争の連鎖を断ち切り 「つながり」を大切にできる社会へ

洋上ゼミ+ヤンゴンエキスポージャー(8月27~28日)



武力紛争がなくなることは平和への条件ではありますが、宗教間や民族間の対立はそれだけでなくなくなるわけではありません。人々の間の信頼関係を築き直し社会の結束力を高めていくためには宗教や民族の異なる人々が対話の場を持つことが必要です。差別や暴力などの問題と立ち向かっていくには、人々を巻き込む具体的な取り組みこそが大きな力につながります。果たして和解とは何を意味するのでしょうか。ヤンゴンでは宗教間の対話の場をつくる市民団体の取り組みにふれ、違いを認めながら社会を前に進めていく方法を探ります。

船ならではの新しい学びの形

船の上は国境のない自由な言論空間です。このユニークな環境をいかし、地球大学では通常の教育の現場ではなかなか取り入れられない批判的な思考や対話を促す手法を多く実践しています。シナリオ・ワークショップでは、国籍やバックグラウンドの異なる学生が、グループごとに未来のビジョンをえがきます。そして30年後、50年後のアジアや世界がどうなっているかをともに考えます。課題発掘・課題解決ワークショップでは、船内環境における「課題」を学生らが自ら探し出し、当事者らと折衝を重ねながら課題を解決に導きます。このような参加実践型のプログラムを通じて、アジアの未来を具体的に考え、包摂的な社会を実現するためにどのような地域レベル・国際レベルでの取り組みができるのかを考える力を養います。



旅行代金

(大人お一人様代金)

306,800円

※別途、船内チップ8,000円、ポートチャージ7,200円が必要です。また、査証取得費用は自己責任・自己負担となります。※集合地まで、解散地からご自宅までの交通費は含まれません。日本在住で、帰国便手配をご希望の方は別途ご相談ください。

●最少催行人員:5名 ●使用客船:オーシャンドリーム号 ●利用予定宿泊ホテル:[東京都内]YMCAアジア青少年センター[ヤンゴン]YMCAインターナショナルハウス・ヤンゴン、シティスターホテル・ヤンゴン、ホテル・グラン・ユナイテッド・21stダウタウン、アサヒ・ホテル ●食事:朝食18回、昼食18回、夕食18回 ●添乗員:本船以外は同行しませんが、現地係員がお世話します。

0:00~ 4:00~ 6:00~ 8:00~ 12:00~ 18:00~ 23:00~

深夜 早朝 朝 午前 午後 夜 深夜

応募から参加まで

① 応募書類の提出

■応募資格

- 参加者は以下の応募資格の②から④のすべてを満たす方の中から選抜されます。
- ②本プロジェクトの趣旨に賛同し、「2017年8月地球大学特別プログラム」の全行程に参加できること。
 - ③2017年8月10日時点で18歳以上35歳以下であること。
 - ④ディスカッションを含む英語でのプログラムに支障なく参加できる語学力を有すること。
 - ⑤アジア太平洋地域に関して、以下のいずれかひとつを満たすこと。
 - ①いずれかの国籍を持つ。
 - ②いずれかの国に関して強い関心を持ち、過去に研究や活動の経験を有する。
 - ③いずれかの国に在住し、勉強をしたり、働いたりしている。
 - ⑥年代や国籍を問わず、他の参加者と協力しながら活動できること。
 - ⑦プロジェクト参加後もトピックに関して活動を続けていく意欲を有すること。

■応募書類提出方法

件名を「地球大学特別プログラム 応募用紙希望」として、下記のメールアドレスにメールをお送りください。ピースボート事務局より、応募用紙をお送りします。必要事項を記入し、締切日までにメールにてご提出ください。応募用紙はピースボートの英語のサイトからもダウンロードできます。(www.peaceboat.org/english)

お問い合わせ・応募書類提出先

Email: univ@peaceboat.gr.jp

Tel: 03-3363-7561 Fax: 03-3363-7562

■締切日

第一締め切り 2017年4月30日[日] 日本時間 | 17:00必着

第二締め切り 2017年5月31日[水] 日本時間 | 17:00必着

※毎回の締め切りごとに審査を行い、締め切りから2週間以内に可否を通知します。

② 受講の可否

■選考方法

受け付けした応募書類を、上記「応募資格」の観点から審査します。審査の必要に応じて、個別に面接をさせていただく場合があります。結果はピースボート事務局よりご連絡します。

③ 申込書の提出

■旅行のお申し込み

「2017年8月地球大学特別プログラム」申込書を(株)ジャパングレイスにご提出ください。

旅行日程

	日程	スケジュール	食事	宿泊
8.10	(木) 午後	東京都内に集合	夕	東京都内のホテル泊
8.11	(金) 終日	エクスポージャー	朝食夕	
8.12	(土) 終日	エクスポージャー	朝食夕	オーシャンドリーム号泊
8.13	朝	横浜へ移動	朝食夕	
	午前 午後	横浜港にて本船に合流 横浜出発		
8.14-8.17	(日)(月)(火)(水)	クルージング 洋上ゼミ	朝食夕	オーシャンドリーム号泊
8.18	朝	廈門入港	朝食夕	
	終日 夜	エクスポージャー 廈門出港		
8.19-8.22	(木)(金)(土)(日)	クルージング 洋上ゼミ	朝食夕	ヤンゴン市内のホテル泊
8.23	午前	シンガポール入港	朝食夕	
	終日 夜	エクスポージャー シンガポール出港		
8.24-8.26	(月)(火)(水)	クルージング 洋上ゼミ	朝食夕	ヤンゴン市内のホテル泊
8.27	午前	ヤンゴン入港	朝食夕	
	午前 終日	本船を下船 エクスポージャー		
8.28	午前	エクスポージャー	朝食	
	午後	ヤンゴンにて解散		

旅行条件(要旨)

お申し込みの際は、別途お渡りする旅行条件の内容をご確認の上お申し込みください。本旅行条件は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、(株)ジャパングレイス(以下当社といいます)が企画・実施する旅行です。お客様とは当社と募集型企画旅行契約を締結するものです。

2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として30,680円をそえてお申し込みください。当社が申込書と申込金の受領が確認できた時点で正式なお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの

- ①旅行日程に明示した船舶、列車、バス等の運賃。特に記載がない限り列車は普通車です。
- ②旅行日程に明示した船内宿泊。※船室:フレンチリバーベネット(4人相部屋、窓なし、シャワートイレ完備)
- ③旅行日程に明示したホテルの代金。ホテルは二人~四人部屋に2~4名様相部屋となります。
- ④旅行日程に明示した食事です。
- ⑤旅行日程に明示した洋上ゼミとエクスポージャー費用。
- ⑥船舶の手荷物運搬料。
- ⑦添乗員および現地係員の同行費。

4. 旅行代金に含まれないもの

前項3以外に旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示します。

- ①渡航手続費用、寄港地のポートチャージ、船内及びホテルでのチップ
- ②査証代
- ③クリーニング代、電話・ファックス・インターネットなど通信費、飲み物代など個人的費用
- ④海外旅行保険

5. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することが出来ます。

- ①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日前以降31日前まで……………旅行代金の10%
 - ②旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日前以降10日前まで……………旅行代金の20%
 - ③旅行開始日の前日から起算してさかのぼって9日前以降旅行開始日まで……………旅行代金の50%
 - ④旅行開始後の解除または無連絡不参加……………旅行代金の100%
- 本旅行の使用客船は貸し切り船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係わる旅行代金の払い戻しはありません。

6. その他

- ①海外旅行保険への加入を条件とします。
- ②外務省より海外安全情報「レベル1:十分注意してください」がヤンゴンに発出されておりますが、現地手配会社、関係省庁、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認しましたので本旅行を催行いたします。尚、現地の治安および病気など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。
- ③外務省のホームページでは、「海外安全虎の巻」という冊子がございます。海外旅行でのトラブルを防止するポイントが多数紹介されておりますので、出発前是非ご一読ください。(http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/tora_2017.pdf)
- ④旅券(パスポート)はヤンゴン到着時に6ヶ月の残存期間があるもの。
- ⑤記載事項は2017年3月1日を基準としております。

お申し込みは…



(株)ジャパングレイス本社営業所

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13マリンビル2F
TEL:03-5287-3081(10:00-18:00 定休/土日祝) FAX:03-5287-3083(24時間受付)
総合旅行業務取扱管理者:延原和正・本山誠



(株)ジャパングレイス大阪営業所

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25ハービスPLAZA3F
TEL:06-7661-2280(10:30-18:30 定休/日祝) FAX:06-7661-2281(24時間受付)
総合旅行業務取扱管理者:松井美緒・松木健介

【旅行企画・実施】株式会社ジャパングレイス

観光庁長官登録旅行業第617号 © 一般社団法人日本旅行業協会 正会員
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13 URL:http://www.japangrace.com

<個人情報の利用目的>(株)ジャパングレイス及びNGOピースボートでは、お客様の個人情報を契約の履行、当社からの商品・サービスのご案内、及び当社内における調査・研究資料として利用させていただきます。

Coordinated by: PEACE BOAT ピースボート

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562 http://www.peaceboat.org